

# 令和5年度 生命医科学域セミナーⅢ

演題: 分子生物学的アプローチを用いた  
病理学の未来像

演者: 倉田 盛人先生

東京医科歯科大学 医歯学総合研究科  
包括病理学分野 講師

日時: 令和6年3月7日(木) 15時～16時

会場: 健康医科学イノベーション棟8階講堂

## 要旨:

病理診断は既存の形態像の観察から、治療に直結する遺伝子変異を加味した分子病理診断の需要が高まってきている。私はこれまでにCRISPRライブラリーなどのランダム変異スクリーニングを応用して、白血病における治療ターゲットの同定を行ってきた。また、微小環境における腫瘍再発をきたす原因解明の為、腫瘍細胞と支持細胞の分子相互作用による薬剤耐性誘導遺伝子をスクリーニング可能なIndirect CRISPRスクリーニング法を確立した。形態学的には類似して見える腫瘍においても、同定した分子相互作用が治療のターゲットとなる疾患 Entityの創出を行いたいと考えている。既存の形態像・腫瘍の遺伝子変異に固執せず、AI利用も含め複合的なアプローチにて検証する。質の高い研究を遂行する上では、チームとしての作業が必要不可欠であり、国内外の学生・大学院生と研究の楽しさと重要性を共有しつつ、分子病理学を発展させたいと考えている。